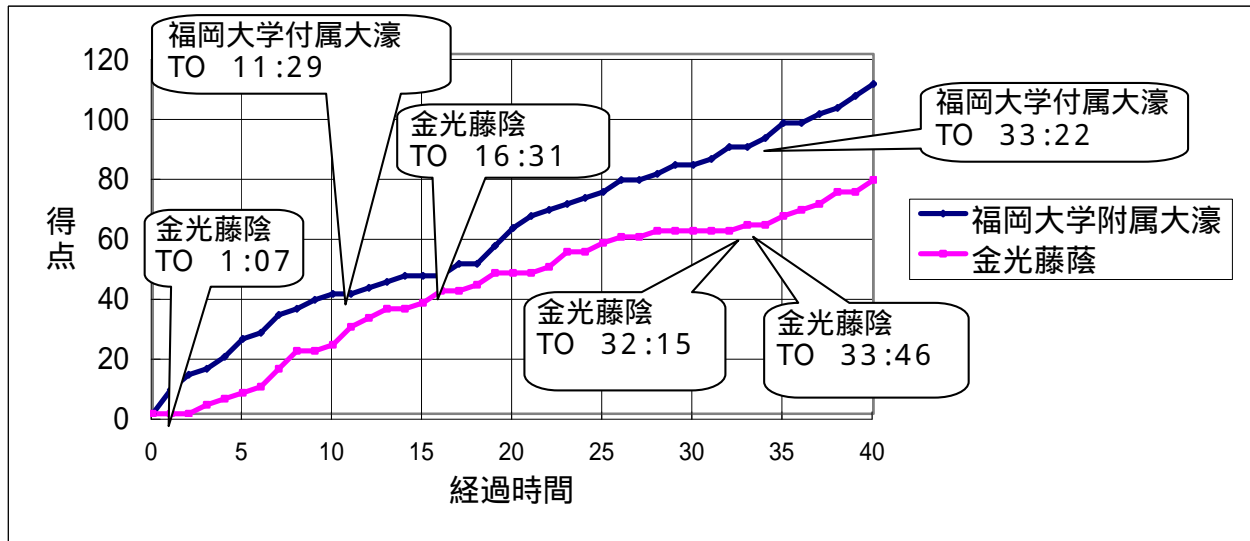


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	B2	11:40	男子 2回戦	
		福岡大学附属大濠	110	78	金光藤蔭
					大阪
期日会場	2007年(平成19年)7月30日(月)	福岡			
会場	唐津市文化体育館				

主審柳屋伸明 副審本多芳隆



福岡大学附属大濠

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	松谷 直人	14	0	7	0	2
○ 5	崎濱 成矢	8	0	3	2	3
○ 6	織田 秀司	18	0	8	2	3
○ 7	山口 堯彰	18	1	7	1	2
8	大下内 仁	9	0	4	1	0
○ 9	久保田 遼	26	0	12	2	0
10	岸 翔太郎	0	0	0	0	0
11	野崎 圭佑	11	2	1	3	0
12	大塚 勇人	4	0	2	0	0
13	二宮 弘憲	2	0	1	0	0
14	矢嶋 瞭	0	0	0	0	0
15	猪原 大輔	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	田中 国明					
	合計	110	3	45	11	

金光藤蔭

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	藤川 和也	25	0	11	3	4
○ 5	笠原 太志	15	1	4	4	2
○ 6	古家 直樹	7	1	2	0	3
○ 7	村長 直也	14	2	4	0	0
8	中東 徳馬	5	1	1	0	2
9	上野 大地	0	0	0	0	0
10	椎名 大祐	0	0	0	0	0
○ 11	野中 博文	12	2	3	0	5
12	弓場 築	0	0	0	0	0
13	渡辺 直人	0	0	0	0	1
14	浮田 雄司	0	0	0	0	0
15	本藤 哲也	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	武田 充広					
	合計	78	7	25	7	

はスターター(はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

### 戦評

スピードとパワーを兼ね備えた福大大濠に対して、1回戦で大接戦を演じた金光藤蔭との対戦は、試合開始直後、堅さの見える藤蔭が連続15失点し一方的なゲーム展開となった。藤蔭は、第2P、リズムを取り戻し5点差まで詰め寄ったが、結局大濠が110対78で快勝した。第1P、堅さの見える藤蔭に対して大濠は、#9久保田#6織田らのゴール下シュートなどで連続15得点をあげ、一方的な滑り出しとなる。徐々に堅さの取れた藤蔭は#7村長の3Pやドライブインなどで反撃するもスタートの失点が響き、大濠が40対23とリードして第2Pへ。第2P、藤蔭は2-3ゾーンから大濠のターンオーバーを誘うなど連続6得点を挙げる。大濠はたまたまずタイムアウトを取るも、勢いに乗った藤蔭は#4藤川のドライブインなどで17点差を5点差まで戻す。その後大濠はリズムを取り戻し、ゴール下を中心に得点し62対47とリードして後半へ。第3P、大濠はアウトサイドシュートが効果的に決まり出した。それに対し藤蔭は大濠の堅いディフェンスで簡単に得点できず、徐々に点差は開く。大濠83対61とリードして第4Pへ。第4P、藤蔭はパスミスからのターンオーバーやディフェンスリバウンドを奪われるなどで、得点が伸び悩む。それに対して大濠は確実に得点を重ね、110対78で藤蔭を下した。

記者 喜多隆一 (所属) 佐賀県バスケットボール協会